

第50回番組審議会の審議結果について

1. 開催年月日 2021年8月18日(水)～31日(火)
新型コロナウイルス感染拡大（8月20日～まん延防止等重点措置（高松市）適用）のため、上記期間による書面開催

2. 書面参加委員 （7名 全員参加）

灘波	順一	委員長
加藤	昭彦	副委員長
北川	つき子	委員
長谷	有美	委員
合田	恵梨子	委員
古竹	孝一	委員
国東	宣之	委員

3. 審議結果

議案の自主制作番組 ①行ってみ四い国「完成間近！ 高松市塩江にできる栴川ダムを見に行こう！」、自主制作番組②CMS sports＋内コーナー「ガッツだぜ！」について事前に送付したDVDをご視聴頂き、それぞれの番組を審議して頂いた。各委員からの主な意見は次のとおり。

<主な意見>

①行ってみ四い国「完成間近！ 高松市塩江にできる栴川ダムを見に行こう！」

- ・栴川ダムの概要や目的が分かりやすく紹介されている。またグルメスポットも行ってみたいと思わせる店が紹介されていた。
- ・ダム紹介では、現場責任者の方が熱心に説明しているところも好感が持て良かった。また分かりやすかった。
- ・クイズ形式でダムの貯水量の多さを表現したのは分かりやすく良かった。
- ・クイズの答えが少し分かりづらく、家庭のお風呂、何年分？というような、子供にも分かりやすい表現が良かった。
- ・14分の番組の中で、ダムと塩江の魅力を伝えるには時間が足りないように感じた。
- ・ダムへのアクセス方法や登場したゆるキャラの説明が不足していたように感じた。
- ・香川県の水不足の現状も含めて多目的ダムである趣旨の説明がもっと知りたいと感じた。
- ・マスクを着用していたが、ダム紹介する二人の距離をもう少し空け、感染症対策のコメントを入れることで、視聴者への注意喚起となり、なお良かった。
- ・お店のテイクアウト情報や、施設の混雑状況などの情報を提供し、訪問する方の混雑を避ける工夫があっても良かった。

②CMS sports＋内コーナー「ガッツだぜ！」

- ・番組コンセプトとおり生き生きと活動している部員を紹介できている。
- ・若い子達が、限られた状況の中で前向きに頑張っている姿を見て、こちら頑張らなければ！と思った。
「ガッツだぜ！」のタイトルに相應しい内容だった。
- ・吹奏楽部の全員が映っている映像があり、非常にわかりやすかったし、一人一人もうまく撮っている。
- ・全員が揃って元気よくアピールする場面があるともっと、視聴者に吹奏楽部のメンバーの元気な印象が伝わると思った。
- ・吹奏楽部は元気がいいですというコメントがあったが、コロナ禍のためか、活気があるシーンが少なかった。
- ・強豪校を取り上げたのは理解できなくないが、部長のコメントもよくでき過ぎていて、全体として面白みがなかった。
- ・強豪チーム以外の、困難な状況の中で頑張っている人たちを取り上げたほうがよい。
- ・各楽器での苦労や練習法など、学生のリアルな声がもう少し聴きたかった。
- ・教室の中で、沢山の生徒が楽器を吹いてる事に、感染対策は大丈夫かと少し心配になった。
- ・別番組でドキュメンタリー感も交えて、ほかの部員にもフォーカスするとさらに面白いものになりそうだと感じた。

議案 自主制作番組①

番組タイトル	行ってみ四い国「完成間近！高松市塩江にできる栴川ダムを見に行こう！」
放送期間・番組尺	2021年4月1日～4月30日・14分
番組コンセプト	交流人口の拡大を目的に、四国内のケーブルテレビ各局が持ち回りで月1本制作をしている14分の情報番組です。各エリアのグルメ情報やレジャースポットなど、その地域ならではの情報を発信し、魅力を伝えています。
番組内容	建設計画から四半世紀。多目的ダムとしてこの夏完成するのが、高松市塩江にある栴川ダムです。近くで見るとその景観とスケールは圧巻。番組では、栴川ダムの目的や役割、どんな所がすごいのかを掘り下げました。 また、栴川ダムがある塩江地区の「自然・癒し・グルメ」が堪能できる周辺スポットも合わせてご紹介。ダム見学とともに、高松の奥座敷「塩江」の魅力を楽しんでもらう内容です。
出演者	栴川ダム建設事務所 工事第一課長 石井光弘さん、栴川ダム対策協議会 市原 武 会長、行基の湯 藤澤孝司 所長、栴川ダムゆるキャラ「かばりん」、MC 森朋子（CMS）
プロモーション	弊社ホームページ、番組宣伝用CM
今後の動き	放送が始まった4月は新型コロナウイルスの感染が再び広がり始めた頃で「ダムカード」の配布など、集客につながるアイテムを紹介出来なかったことが心残りです。アフターコロナを見据え、他県の人にも刺さるネタの収集と、人を動かすほどの魅力ある映像づくりにこだわり、制作していきたいと考えています。

議案 自主制作番組②

番組タイトル	CMS sports+内コーナー「ガッツだぜ！」
放送期間・番組尺	2021年7月12日～7月25日・6分
番組コンセプト	CMS sports+は、地域プロスポーツの選手インタビューと、エリア内の中高部活動やスポーツ少年団、社会人スポーツチームなどを紹介する、2つのコーナーからなる番組です。地元ケーブルテレビならではの目線で、生き生きと活動する人たちをご紹介します。
番組内容	普段はスポーツチームを取り上げる事が多い同コーナーですが、今回は古高松中学校吹奏楽部をご紹介します。 運動部同様、吹奏楽部には夏に一番の大きな大会「全日本吹奏楽コンクール」があります。しかし、昨年はコロナの影響でコンクールは中止に。入賞を目指して練習してきた生徒たちにとって、とても悔しい思いをした1年となりました。 古高松中学校吹奏楽部は一昨年、県大会では最優秀、四国大会でも「金賞」を受賞するなど強豪校として知られています。しかしコロナで練習が出来なかったことを通して、今一度「演奏すること」の原点を振り返り、顧問の先生と共に練習に取り組んできました。部員たちの思い、音を奏でることの素晴らしさ、古高松サウンドをお伝えできたと思います。
出演者	古高松中学校吹奏楽部 （インタビュー木村 一裕顧問、岩田 夏奈部長）
プロモーション	弊社チャンネルガイド、ホームページ
今後の動き	今後も、日々練習を頑張っている人たちを取り上げると共に、強豪チームだけでなく様々な部活動やチーム、また、若年層に限らず、生涯スポーツに取り組む高齢者などもご紹介できればと考えています。